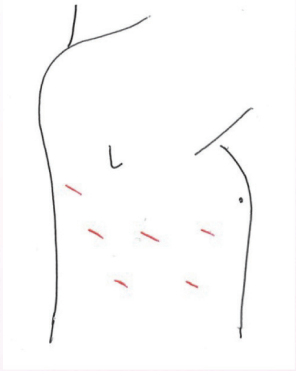
呼吸器外科

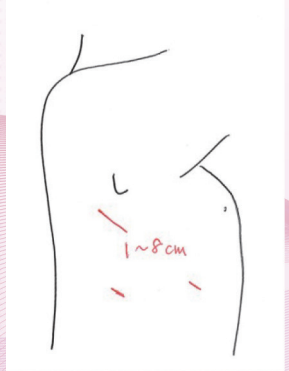
呼吸器外科では、肺がん、縦隔腫瘍、自然気胸等に対して手術治療を行っております。

手術では、胸部に皮膚切開して行います。今までは、８～20cmの切開の開胸手術、１～８cmの切開の胸腔鏡手術を行っていましたが、近年の器械の進歩により１cmの穴（３～６箇所）で手術を行うロボット支援手術が行われるようになってきました。当科でも、肺がん、縦隔腫瘍に対してロボット支援手術を導入しています。

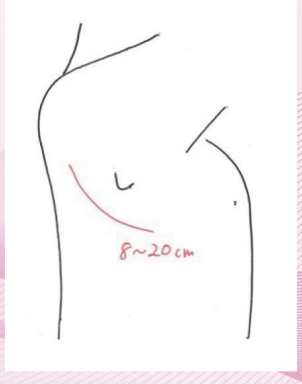
ロボット支援下手術（肺がん、縦隔腫瘍、胸腺疾患）
2018年～肺がんに対して保険適用された
１cmの皮膚切開（穴）、３～６箇所
ロボットの４本の腕（器械）を穴に挿入して手術を行う
身体への負担は、開胸手術より低侵襲
入院期間も短縮傾向



胸腔鏡手術
（肺がん、縦隔腫瘍、自然気胸）
１～８cmの皮膚切開、３箇所



開胸手術
（進行した肺がんなど）
８～20cmの皮膚切開



2024.03 改訂

順天堂大学 医学部附属 浦安病院
JUNTENDO UNIVERSITY URAYASU HOSPITAL